

日本赤十字九州国際看護大学 国際シンポジウム 2006 概要

テーマ： グローバルな健康危機に立ち向かう—看護の立場から

日時：2006年12月22日 13:30-17:00

場所：日本赤十字九州国際看護大学 オーバルホール

使用言語：日本語・英語

このシンポジウムを通して、**HIV/AIDS**、**SARS**、鳥インフルエンザ、紛争やテロ、自然災害など、人と社会の安寧と健康を脅かすグローバルな健康危機に対し、看護の立場から、どのような貢献ができるかについて考えます。

プログラム

講演Ⅰ 「HIV とともに生きる市民社会を求めて—HIV 陽性者の立場から」

京都 PLHNET(プラネット・People Living with HIV/AIDS Network) はんきー

講演Ⅱ 「津波の経験と立ち直りの力—スリランカの看護学生の立場から」(通訳付)

分科会—看護の視点から (4室に分かれて話し合う) () は話題提供者

1. スリランカの津波の経験と立ち直りの力となったもの (スリランカの学生) (英語のみ)
2. HIV とともに生きる市民社会を求めて—HIV 陽性者の立場から (はんきー)
3. 急激な健康危機に立ち向かう—**SAR**
(国立国際医療センター国際協力局派遣協力課上級看護専門官 實吉佐知子)
4. アチェの看護教育への災害看護学導入がめざすもの
(日本赤十字九州国際看護大学教授 岡村 純)

全体会 (各分科会からの報告とディスカッション)